

女性チャレンジ応援拠点だより 2019 12月

〇〇〇〇 コラム【新年目前、チャレンジのはじめ時！】〇〇〇〇

2019年、令和元年も最後の月になりました。街には大きなクリスマスツリー、イルミネーション、ニュースに今年の十大ニュースや新語大賞の話題ものぼってきて、例年どおりの師走感に包まれます。そのおかげで、新しい気持ちで新年を迎えられるのかもしれませんが。その新年、みなさんはどんな年にしますか？ どうあれ最終的には自分自身で諸々を判断して先へ進んでいますから、どんな年になるかは、みなさん次第。来年の今ごろ、どのような気持ちで一年をふり返っているか、想像するとたのしみではありませんか。



今ちょうど、しみじみこの一年をふり返っている拠点女子の先輩達があります。みなさんの参考になればと、12月の「拠点女子よろず情報」は…
～『拠点女子先輩たちの、ゆく年くる年』～

昨年の師走に初めて来室されたMさん。介護が終わり、ようやく以前活動していた自分の創作を復活できるようになったものの、世の中の状況もかわっているし、“何かヒントをもらえれば…”と来られたのでした。特殊な陶芸作品をつくる作家さんです。この日以来、時間のある日はずっと拠点へ通いました。スタッフやたまたま同席した他の来室者のみなさんといろいろと対話を重ねられましたが、のちのちスタッフが感心することになるのは、対話の中でここぞ！という点を逃がしていないことです。中でも二つだけご紹介します。一つは名刺。元の名刺を見たスタッフが「もっとご自身のコンセプトが表れないと…」と一言。すると何度も改良をかさねられて、初対面の人からも、「すてきな名刺ですね！」と言われるほどに。もう一つは、作品コンペ。「世に出る一つのきっかけとして、コンペへの応募もありですね…」。するとさっそく情報収集、「大阪工芸展」を選び、作品づくりにいそしみ応募、10月の展示に入選。立派です。

今年2月に始めて来られたYさんは、音楽を専門に学び、ピアノの先生、プレイヤーとしても活動。その後ケアマネージャーとして介護の現場で働くなかで生まれた問題意識が独自の活動のアイデアにつながり、来室されたのでした。Yさんも回を重ねて拠点に来られ、対話を続ける中で、Yさん独特の感性に、他の「拠点女子」やスタッフは目をみはるのでした。そして、小さなきっかけをけっしてやり過ぎさない。直近では初めてインターネットラジオ番組にゲスト出演されました。個性的な雰囲気がよく出て、初めてとは思えない。ご本人も、「自分で聴いて感激しました！」。ほんと、素敵でした。

お二人とも今年の流れを来年につなげるべく、今いろいろと準備されていて、今後の飛躍がたのしみです。こんな風に「女性チャレンジ応援拠点」はチャレンジしようとする女性たちのやる気と行動を、ゆるやかに、大らかに、しなやかに応援しています。みなさまのご利用をお待ちしております。

〇〇〇〇 年末年始の開室情報 〇〇〇〇

女性チャレンジ応援拠点は年内12月28日（土）まで開室しています。

年始は1月4日（土）13時から開室です。

2019年の締めくくり、2020年のスタートダッシュにもぜひご利用ください！

女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐5-6-25 クレオ大阪中央4階

電話 & ファックス：06-7659-9640

メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp

運営団体：大阪市男女いきいき財団

※開室日		※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室		
火	水	木	金	土
10:30 ～ 12:30	18:00 ～ 20:00	13:00 ～ 15:00	10:30 ～ 12:30	13:00 ～ 15:00

※開室時間内は自由に入退室いただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

